

質問回答書

令和元年7月16日

履行名称 令和元年度 配水管布設替工事 (みC-27)

No.	図面番号	仕様書等(頁)	質問内容	回答
1		設計書 9、15、24、32、37、48、52、58、64、70、74 頁	近年、残土処分地の確保が難しくなっています。業者としての場所確保は十分に行うとしても困難の可能性があります。そうした場合に運搬距離の変更並びに有料処分等にも配慮して頂けるでしょうか。	施工条件明示の通りとします。但し、残土の状態により受け入れ先が見つからない場合、適正処分について協議します。
2			石綿管の撤去をしながらの施工になるため舗装復旧が5m又は10mとなりジョイントが増えての施工になるので仮復旧を計上して頂けるのでしょうか。	施工現場に即して、協議とします。
3			即日復旧となると、撤去管・布設管の長さが異なり、掘削量・埋戻し量が増加しますが数量表での加算が見えないため各日の全面開放はしなくても宜しいでしょうか。	施工現場に即して、協議とします。但し、各日、全面開放とします。
4		設計書 86、87 頁。施工条件明示・4安全対策関係	交通誘導員の計上が交代要員無しとなっていますが、交代要員なしでは国道施工工事のため無理とされます。	施工現場の実態に即し、必要に応じて、協議とします。
5		施工条件明示・1工程関係	施工時間が要協議となっていますが、時間が短縮された場合に歩掛りの変更はして頂けるのでしょうか。	道路使用許可等により施工時間が制限された場合は、協議とします。